

大室晃子 1hour Concert Series

お話と演奏で紡ぐショパン vol.2

# 4 Ballades 4曲のバラード



ショパンの生家 photo by A.Omuro

2019年10月5日(土) 14:00 開演 13:30開場

早稲田奉仕園スコットホール (東京Metro東西線「早稲田」駅徒歩7分)

## プログラム

フレデリック・ショパン

- バラード第1番 ト短調 op.23
- バラード第2番 へ長調 op.38
- バラード第3番 変イ長調 op.47
- バラード第4番 へ短調 op.52

全席自由 一般2000円 / 当日券2500円 / 学生1500円



大  
室  
晃  
子

Akiko Omuro



【チケット予約】

☎0570-02-9999 (Pコード150-401)



主催: コキア・ミュージックオフィス 後援: 公益社団法人日本演奏連盟 / 株式会社 須賀楽器 / 日本ハプスブルク協会  
マネジメント・お問い合わせ オープス・ワン info@opus-one.jp TEL042-313-3213 http://opus-one.jp

## 『お話と演奏で紡ぐショパン vol.2』に寄せて

ショパンの4曲のバラードを聴くと、それぞれの曲から情景が浮かび上がり、一つの物語として心に響くように感じます。

古くは吟遊詩人たちが歌い繋いでいた「バラード」は、18世紀に入るとゲーテやシラーらによって、詩としての形式が確立されました。そして、初めて器楽曲にバラードという言葉を使ったのは、ピアノの詩人と言われたショパン。

ショパンは幼い頃から、音楽的な才能だけでなく文才も持ち合わせており、生涯を通じて詩人や文人との交流が多くあったことも知られています。

今回、第2回となる『お話と演奏で紡ぐショパン』では、文学への造詣も深かったショパンがバラードにどのような想いを込めたのか、お話を交えながら全4曲のバラードを演奏いたします。

大室晃子

## 大室晃子 Akiko Omuro

東京生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学、同大学院修士課程終了。在学中、芸大フィルハーモニー管弦楽団と共演。2003年に渡独し、フライブルク音楽大学を卒業後、バーデンビュルテンブルク州立銀行からの奨学金得て、シュトゥットガルト音楽・表象芸術大学大学院で研鑽を積んだ。大学院ソリスト課程を首席で修了し、国家演奏家資格を最優秀で取得。同大学にてピアノ科助手として教鞭をとり、管楽器科の伴奏助手も務めながら、ヨーロッパ各地で精力的な演奏活動を展開した。

帰国後は、日本女子大学や東京藝術大学にて後進の指導にあたった。ソロ・リサイタルを開催する傍ら、歌曲伴奏や室内楽などの分野にも活躍の場を広げており、国内外の著名な演奏家との共演も多い。現在、上野学園大学非常勤講師。駿台音楽院主任講師。

これまでに、岡崎悦子、植田克己、浜口奈々、ヴィタリ・ベルゾン、ヴォルフガング・ブローザーの各氏に師事。

大室晃子公式ウェブサイト：[www.akiko-omuro.com](http://www.akiko-omuro.com)

Kochia Music Office  
[www.kochia-musicoffice.com](http://www.kochia-musicoffice.com)

音楽と共に、心豊かな気持ちになるひとときの制作を目指しています。

